

OCTOBER



『きよけし とうとし
おとめマリア
汚れなき 神のはは
祈りといなしたまえ』

(カトリック聖歌集より)



お知らせ

10 月のミサ
5 日 第1日曜
26 日 第 4 日曜

☆新潟教区信徒大会に柿崎信徒会長が出席
します。

☆10/5(日) 話合いの主な議題

- 献堂60周年記念に「60年史」
「ミサ・食事会」についてアンケート検討
- 2025年通常聖年の取り組みのひとつ
巡礼について[高齢者・病者への特別措置]
の具体的な日程など決めます。

☆10/19(日)から毎回、集会祭儀後の30分
教会内不用品のリストアップ開始します。

10 月スケジュール

5 日 (日) 年間第 27 主日
ミサ
話合い
12 日 (日) 年間第 28 主日
集会祭儀

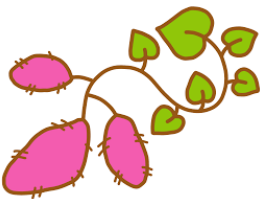
19 日 (日) 年間第 29 主日
集会祭儀

26 日 (日) 年間第 30 主日
ミサ

ミサ・集会祭儀時間
11:30a.m.

10 朗読当番

5 日	先唱	柿崎圭介	19 日	祭壇奉仕	荻原徹
	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	西村浩太郎
	第2朗読	荻原徹		第2朗読	佐藤浩子
12 日	祭壇奉仕	西村浩太郎	26 日	先唱	柿崎圭介
	第1朗読	今野幸子		第1朗読	今野幸子
	第2朗読	齋藤純子		第2朗読	折坂志津枝



巡礼について

「2025 年通常聖年の取り組み」
として推奨されているのは

- ① 指定教会へ巡礼
- ② ゆるしの秘跡
- ③ 十字架リレー

酒田教会は巡礼が未実施です。

当初は鶴岡教会と連携して指定教会のどれかに巡礼を予定しておりましたが、高齢者や描写が多い現状を考慮して止めます。

これに替ることとして教区免責通達に「高齢者・病者への特別措置」を神父様のご指導のもと酒田教会の他の信徒にも適用することにいたします。(通達添付)



空を見上げ

「空は目にとって日々の糧である」とアメリカの思想家、詩人エマーソン(1803—1882)は言っています。

ゆっくり空を見上げることが月に何回あるのかな！

見慣れた都会の灰色の空、林立するビルの群れに四角に切り取られた真上を見ないと見えなくなってしまった小さな空、それでも「ああ、きょうはとても青いね」「めずらしく星が見える」と、ちょっと足を止めて見上げることができます。けれどもそれはほんの一分で、すぐに、またもと通り視線を落として歩きます。

何も予定のない週末に、信貴山と生駒に登り広々とした草原の上に仰向けに寝転がる。空が大きい。真っ青です。白い雲がちぎれて流れてゆく、いい空……でも、時には緩やかに、時には気まぐれに、また時にはすさまじく……でも、絶え間なく形を変えていく空。

人間のように情熱的でまた、優しくそして神様のように無限で偉大な空……。

ふと、この考えが浮かんだのです。

心に純情を秘めた者のみが人の純情に触れることができる。

心の澄んだ人のみが、美しいものを見ることができる。

皆さんはゆっくり空を見上げることが月に何回ありますか？

秋めいた今日このごろ、目と心に秋の空と秋の夕暮れをいっぱい味わいたいものです。

やはり詩人エマーソンの言うとおりの、「空は目にとって日々の糧である！」

“The sky is the daily bread of the eyes!”

(ステファノ・デランジェラ落ち葉「いい人生というために」より)